

1. 例会最重点主義で、例会出席者の純増・出席率を高める。
2. 会員増強目標
3. 福島職業宣言文化
4. 青少年ショート交換事業実施への研究
5. 横断的な委員会ジョイントでの活動強化
6. ロータリー賞への挑戦
7. ロータリー財団への理解と活用
8. 米山記念奨学会への協力



ロータリーは機会の扉を開く

11月は

ロータリー財団月間

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 石黒 秀 司
ガバナー補佐 佐久間 弘 行
会 長 菅 野 浩 司
幹 事 斎 藤 孝 裕

2020-2021年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

R1会長 ホルガー・クナーク 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433

ヘルツォークトゥム・ラウエンブルグ・メルンRC (ドイツ)

通 算

第18回 [3026] 例会報告 令和2年(2020)11月26日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	27名
欠席会員	12名
出席率	69.23%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆ロータリーソング 【手に手つないで】

◆四つのテスト 服部裕一 職業奉仕委員

【12月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
12月2日 石川 とよ様(邦俊会員)

🎵 今週の誕生日 🎵 12月1日 鈴木 牧子 会員 🎵

lunch time

◆会長の時間



本日も例会出席ありがとうございます。まず、ご報告事項ですが、来年1月4日の福島市内8クラブ合同新年会は、本日参加人数の制限があった10名に達しましたので、出席者確定となります。ご了承いただきたいと思っております。また、先週の例会終了後に、西山職業奉仕委員長と一緒に福島北高等学校に伺い、鈴木校長先生と3年学年主任の野地先生と今年度の「出前授業」について相談してまいりました。日程は、来年の1月13日か29日のどちらかで来週中には決定します。講師2名については、西山委員長から後日ご連絡いただきますので、ご協力お願いいたします。

さて、本日で11月も最後の例会となり、あと1か月あまりで今年も終わります。私の仕事柄、各企業様の来年の休日カレンダーの作成、労使協定書の作成を行っているところですが、ここに来て、来年の祝日の変更になるというニュースが飛び込んできました。もう既に来年のカレンダーや手帳も出回っているこの時期に変更ということなので、各業界も大変だろうなと思っております。そもそも今年のオリンピックが延期となりましたので、来年も今年のような祝日の配置になるのは当然といえば当然ではありますが、このコロナの感染も急増している中、オリンピックを本当にやるのか全く判断がつかない現時点で、この祝日の変更は、やる方向に進んでいるのだとちょっと驚きました。来年の日程をこれから調整される方には、ご参考までにお話させていただきました。

◆幹事報告 斎藤孝裕 幹事

A. メーキャップ報告

- 11/20 地区行事
- 11/21 2020-21年度地区会長・幹事会並びに選挙人会
- 11/22 地区補助金管理セミナー

- 佐藤真也 会員
- 斎藤孝裕 会員
- 菅野浩司、堀切孝敏、佐藤喜市郎 各会員

◆2020-21年度地区会長・幹事会並びに選挙人会の報告 斎藤孝裕 幹事

11月21日の2020-21年度地区会長・幹事会並びに選挙人会に、会長の全権を委任されまして、私が出席してまいりましたが、この日の懇親会は、郡山商工会議所の職員の方々がコロナに感染したということもありまして、急遽中止となりました。色々決定事項もあり、地区の資金決算報告など、大枠では2021-22年度の地区大会が来年11月6日7日にわたり、いわきでの開催が決定いたしました。以上、ご報告いたします。

◆地区補助金管理セミナーの報告 堀切孝敏 ロータリー財団委員長

11月22日にユラックス熱海で開催され、菅野会長、佐藤喜市郎地区委員、私と3名で行ってまいりました。内容は、皆さんからお預かりしたお金をなるべく早く納めていただきたいということと、色々とお話を聞いておりますと、毎年期限があるのですが、ギリギリに出すところがあるということです。できれば前もって、各委員長に報告をして、委員長と話し合いをして、書類をまとめて出していただいで、国際ロータリーの許可がないと補助金が出ませんので、企画を行う場合は早めに出していただくことが大切です。また、毎年納める基金もきちんと納めていただきたいというお話でした。委員長さんは3年間務めることになっております。小笠原前委員長も3年間やっていただきました。私は1年目ですので、あと2年は続けてやらなくてはいけないなと思っております。以上、ご報告を終わります。

◆スマイリングBOX 中島定宏 委員 【合計52s】

- 昌 隆章会員 5s 本日、会員スピーチをさせていただきます。昨晩は緊張のあまり、良く寝れませんでした。
- 鈴木 義明会員 5s 昌さんスピーチたのしみしております。
- 鈴木 重忠会員 5s 妻の誕生日にお花を頂きありがとうございます。
- 菅野 浩司会員 3s 本日は昌会員のスピーチ楽しみにしております。宜しくお願いします。
- 斎藤 孝裕会員 3s 昌さん、スピーチありがとうございます。前回欠席おわび
- 村上 裕司会員 3s 本日の昌会員のスピーチ楽しみにしております。
- 佐藤喜市郎会員 3s 昌さんスピーチよろしく楽しみにしています。前回欠席おわび
- 服部 裕一会員 3s 今日昌会員のスピーチ楽しみにしています。又、前回欠席おわび
- 安斎 忠作会員 3s 昌会員のスピーチ楽しみにしています。石川 邦俊会員 3s 昌会員スピーチたのしみしています。
- 生田 正志会員 3s 昌さんのスピーチたのしみしていました。渡辺 達也会員 3s 昌さんスピーチ楽しみにしています。
- 紺野 容樹会員 3s 昌さんのスピーチ楽しみにしていました。鈴木 牧子会員 3s 昌会員のスピーチ楽しみにしています。
- 堀切 孝敏会員 2s 昌会員のスピーチを楽しみにしています。中島 定宏会員 2s 昌さんのスピーチ楽しみです

四つのテスト



◆会員スピーチ

「吉川屋の歴史」 畠 隆章 会員



今ほど、皆様よりスマイリングにたくさんいただきまして、緊張も最大に達しておりますが、なんとかこの時間を務めさせていただきたいと思っております。何を話すか考えておりましたが、吉川屋の歴史の話にしようと思っております。実は、今年は吉川屋が創業180周年の年で、本来ですと、息子が1月に新社長に就任し、新社長就任と180周年記念の披露を兼ねた式典を4月7日にやろうと思っておりましたが、このように新型コロナウイルス感染症が広がってきている中で、3密を回避するという意味で、今回は延期になりました。

ただ、180年という事実は事実でありますので、今に至るこの吉川屋の歴史を皆様にご説明させていただきたいと思っております。実は、様々な文献に吉川屋は創業天保12年(1841年)と伝えられているのですが、単純に計算すると179年です。1841年を初年度と

数えれば、間違っていないのかなと考えております。創業天保12年と言いましても、本当に12年なのか、なんの確証もありません。私自身も、ひょっとするともっと前からあったのかもしれないという思いがあります。ただ、確実なことは、駐車場の一番奥の左側に、湯神様という石の祠があるのです。そこには天保12年6月と建立した日付が刻んであります。それが昔からうちの敷地にあるということは、1841年までは確実に遡れるのだらうと解釈して、一つのけじめとして、天保12年からと考えております。いずれにしても、日本の会社の中で、100年以上継続している会社は3万3千社しかないそうです。私ども老舗旅館として、誇りを持っているのではないかと考えております。もちろん、この180年の間は順風満帆な経営をしてきたということは決してありません。山あり谷ありの歴史を繰り返して、今に至りました。近年になって、吉川屋には大きな4つの谷がありました。一つ目は、第二次世界大戦です。吉川屋は当時軍閥に接収されました。傷痍軍人の療養所となったのです。戦後、また畠家の旅館として取り戻すのに大変な苦労があったと聞いております。二つ目は、昭和48年の第一次オイルショックです。日本全体の経済環境が悪くなり大変な時代でしたが、うちもお客様がかなり激減し、大変苦労したということでした。三つ目は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災です。この時も、一瞬にして予約の全てが消えてしまいました。これから本当に旅館商売をやっているのかと真剣に悩みました。ところが完全に休業したのは約3週間です。県から依頼があり、多い時は200人から300人という被災者の受け入れをお引き受けいたしました。その後は一般のお客様も戻ってきたという状況です。四つ目は、まさに現在遭遇している新型コロナウイルス禍です。こちらの方が実は吉川屋にとって大きなダメージを残しております。ご承知のように非常事態宣言が発令されて、不要不急の外出は禁止となりました。当然、お客様は消えてしまいました。今回は4月7日から丸二カ月間、全面休業せざるを得ないということでした。しかし、売上は落ちても雇用は守るということで、本当に大変でしたが、ここで180年の歴史を終わらせることはできないので、なんとか頑張ってお守りしてこうと考えました。社員のくびを切るのにはある意味簡単なのですが、今まで一生懸命働いてまいりました。結果的に大正解で、今も変わらず吉川屋のクオリティーの高いサービスを続けていくことができました。

吉川屋の歴史でプラスの出来事は、なんとか順調に設備投資、増築を繰り返すことができたことです。旅館の三大要素は建物とサービスと旅館と言われていますが、建物は造った瞬間から古くなっていきます。その瞬間から陳腐感が始まるとも言われています。ですから、大変ですが設備投資は旅館にとって必要不可欠なものなのです。そういった中で、昭和58年には、非常に優秀な旅館経営コンサルタントと出会うことができました。その先生の指導をいただきながら、昭和59年、平成元年と平成8年の3回にわたって、大規模な設備投資をすることができました。設備投資効果というのを期待し、建築工事をして、戦略を繰り返してきましたが、当然、採算に合うだけの売上も確保してまいりました。昭和58年の前年の年間売上は実は2億円弱しかありませんでしたが、収容も大きく稼働率も上がって、ピーク時には約20億円まで売上を伸ばすことができました。バブルが弾けてからは、そういうわけにはいかなくなりましたが、特に今回のコロナ禍では厳しいものがあるが、売上も減っております。しかし、借入金も返済しておりますので、なんとかバランスをとった経営はできているのではないかと思います。このコロナ禍では、初めて運転資金を借りないやっつけいけないということで、金融機関さんにご理解ご協力をいただいて、現在に至っております。

その歴史の中で、非常にありがたかったのは、ご承知のように皇族方にお泊りいただける旅館として、行政からも、あるいは世間の皆様方からも、認めていただけるようになりました。平成7年の第50回福島国体では、天皇皇后両陛下をお迎えしたのを皮切りに、天皇皇后両陛下(上皇皇后陛下)は2度、皇太子殿下妃殿下(天皇皇后陛下)も2度、その他にも常陸宮殿下妃殿下、高円宮殿下、寛仁親王妃信子様にもおいでいただいております。旅館商売をやったのが誇りかという、やはり皇族方にお泊りいただける、おいでいただけるというのは本当にこの上のない誉だと思っておりますし、ありがたいことだと思っております。また、将棋や囲碁の対局の場としても選ばれるようになったというのもありがたいことです。平成5年の第48期本因坊戦が行われたのをはじめ、本因坊戦が2回、将棋の王位戦が1回、竜王戦が3回、私どもで開催されております。本来ならば、今年の11月12日から竜王戦が予定されておりましたが、ご承知の通り、挑戦者の羽生9段が前日から高熱を出して、対局が中止になりました。将棋ファンもがっかりされましたが、私どもも中止になって非常にがっかりしております。大変名誉なことでもありますので、またそういうお話があった時はご協力させていただきます。

色々な著名人、有名人の方もおいでいただいております。先代の親父に聞いた話では、作家の吉川英治さんが「宮本武蔵」を執筆したのはうちではないかと、その当時、何週間もうちに滞在していて、印刷関係の方が、原稿ができるたびに印刷会社の方に送っていたそうです。私が子供の頃は、歌手の美空ひばりさんもおいでになったことがあります。小林旭さん、松山千春さん、大鵬関、田原俊彦さん、SUGIZOさん、この前はエールの鉄男役の中村蒼さんもおいでになりました。政治家では、石原慎太郎さん、総理になる前の安倍晋三さん、石破茂さんもおいでになっております。自慢話のように思っていますが、いづれにしても吉川屋がこのように成長することができたのは、決して私一人の力ではないと思っております。一つには行政の方々、そして、何よりも金融機関のご支援、地域の人たちのご支援があったこと、それから、吉川屋の幹部社員、一般社員が一致団結して、吉川屋をきちっと守っていただいて、クオリティーを維持していく努力していただいたこと。また、なによりも家族の支えです。亡くなった親父、現社長の息子夫婦、そして、娘、そんな家族の協力があってこそです。そして、なんといっても女将です。女将の支えがあったからだと思います。365日24時間、休みもとらないで、旅館のために献身的に働いてくれたからこそだと思っております。このスピーチの最後に、私を支えてくれた全ての人たちに心からの感謝の気持ちを表しまして、私の役目をこれで終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長

■指名委員会開催 11月26日(木) 18:30~「遊乃里」

《内容》①2021-2022年度役員・理事について ②その他

《出席者》菅野浩司、斎藤孝裕、安齋忠作、吾妻一夫、畠 隆章、服部裕一、石川邦俊、村上裕司、生田目正志、佐藤喜市郎、佐藤真也、鈴木義明 以上の会員